

は じ め に

台東区の財政運営は、(仮称)新台東病院の整備や区民の安全・安心の推進、公共施設の維持・保全など、様々な財政需要が増加する一方で、国の三位一体の改革による財政構造の変化などにより、楽観できる状況ではなく、一層の自助努力と創意工夫が必要となってきました。

平成17年度の予算編成では、既定事業については、引き続き「一般財源割当方式」に基づき、事務事業の見直し等を図りました。その一方で、新たな基本構想のもとに策定した長期総合計画及び行政計画の対象事業は、一般財源割当の対象外として重点配分を行いました。また、行政評価による事務事業の見直しや歳出経費の削減に努め、財源の有効活用と予算の適正な執行に取り組みました。

本書は、こうした平成17年度の財政運営の状況を、決算数値をもとに過去10年間の変化と共にわかりやすく示すように努めました。

第一部は、特別区税・特別区交付金の推移、区債・基金の活用と推移、性質別歳出決算額の変化、義務的経費とその他の経費について掲載しています。このうち、特別区税・特別区交付金の推移などは23区平均と、主な財政指標では近隣区との比較を行いました。

第二部は、区の資産と負債を明らかにする「バランスシート」、行政活動の効率性をコストの面から検証する「行政コスト計算書」など、財政運営の状況を把握するための各種計算書を掲載しました。

この「台東区財政の現況」が、健全な財政運営を積極的に推進するための基礎資料として、また、区の財政状況をご理解いただくための参考として、広くご活用いただければ幸いです。

本書をお読みいただくにあたって

☆各項目の推移を百分率で表示する場合には、平成8年度を基準年として
います。

☆「用語の説明」を巻末に掲載しています。

☆各種のデータは、地方財政状況調査報告（総務省）における各年度の普
通会計決算に基づいた数値を使用しています。なお、平成14年度から
総務省の基準に従い駐車場整備事業を公営企業会計として集計するこ
ととなりました。

☆金額の表示は、百万円単位等を使用しており、各年度における各会計の
決算書の額と一致しない場合があります。